

# 祝 辞

春爛漫のこの佳き日、宮崎国際大学及び大学院の入学式を迎えました。学校法人宮崎学園を代表しまして、お祝いを述べさせていただきます。

学部及び大学院の新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。また、保護者の皆様ならびにご家族の皆様にもお祝いを申し上げます。宮崎学園のすべての関係者ととも、皆様を宮崎国際大学にお迎えすることを重ねて心からお慶び申し上げます。

学校法人宮崎学園は、昭和14年、大坪 資秀 初代理事長によって創設されました。昭和、平成、令和へと三時代にわたり多様な変化進展を経て、84年の歴史を刻んでいます。本学が立地する地は、儒学者である安井 息軒 先生の父 滄州 先生が、清武にこそ学問の場が必要であるとのことで、私塾である「明教堂」を開き、儒学を教えられた地です。安井 息軒 先生をはじめ、明治初期の日本の近代化実現に向けて、人材を送り出した地は、まさに「学びの丘」であります。先人たちのこの清武から学問を発信したいという願いは、190年の歴史を経て、今もなお脈々と受け継がれています。

本学は、平成6年、大坪 久泰 第2代理事長によって創設されました。グローバル社会で活躍する人材育成をめざし、英語によるリベラル・アーツ教育という、極めて先進的な教育に取り組みました。また、創立20周年を迎えた平成26年には教育学部を新設し、教員養成に取り組み始めました。そして、創立29年を迎えた本年は、大学院を設置という輝かしい年を迎えることができました。

本学園の建学の精神は、「礼節・勤労」です。建学の精神「礼節・勤労」の大きな願いは、地球が平和で、すべての人がお互いを尊重しあう社会が築かれていくことです。学生の皆さんに願うことは、皆様方の人間としての成長です。「礼節」の精神では、礼節を重んじ、自他の人間性を尊重し、自らを律し、他者の立場に立って物事を考えることをめざします。さらに「勤労」の精神では、心身を労して全てのことに積極的に努力することをめざします。これらは、日々の生活において真摯な態度で生きることを求めるものであります。

このような人としての成長を目指しながら皆様は学問を学びます。この3年間、皆様方はコロナ禍の中で、大変な忍耐を強いられました。様々な制約の中で思うような高校生活や学部の生活を送ることができなかったのではないかと思います。幸いなことに、コロナもある程度の落ち着きを取り戻してきました。これからの本学での学生生活は、この3年間を取り戻していただく4年間にしていただきたいと思います。学友と自らの夢を語り合い、学問を深め、共に学び合える4年間になることを期待しています。体験できなかったことがあれば、どうぞ積極的に実体験を積んでください。一番に願うことは、自らの成長を願い、学友と共に学ぶことの喜びを体験していただくことです。そのためには、問いを持つことが何よりも大切なことです。なぜという問いは、皆さんを大きく育てます。自ら良く考え、物事に正面から向き合って、コロナ禍3年間を取り戻す素晴らしい学生生活を送ってください。

「見たことのない景色を見て、見たことのない自分に出会う」。挑戦という航海に出発です。私たち宮崎学園は、全力で皆様の新たな学びを支援します。

皆様の大学生生活が、実り多きものとなりますことを心から願ひまして、理事長祝辞といたします。

令和5年4月6日

学校法人宮崎学園理事長 山下 恵子